

2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

試験室への持ち込み：語学冊子辞書 持ち込み可（電子辞書は不可）

【解答上の注意】 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

- ① 以下の英文は「Effortful self-regulatory processes」という節を一部改変したものである。この英文を読み、問題に答えなさい。

2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

試験室への持ち込み：語学冊子辞書 持ち込み可（電子辞書は不可）

出典：Eisenberg, N., Hernández, M. M., & Spinrad, T. L. (2017). The Relation of self-regulation to children's externalizing and internalizing problems. In Essau, C. A., Leblanc, S., & Ollendick, T. H. (Eds.), *Emotion regulation and Psychopathology in children and adolescents* (pp. 19-20). Oxford University Press.

問 1 以下の選択肢の中から、下線 A の箇所に挿入する行動として最も適切なものを 1 つ選んで記入しなさい。

- a) go to sleep quickly when tired
- b) pay attention in noisy environments
- c) play friendly with other children
- d) study favorite subjects in peace and quiet
- e) wait until a bell rings to pick up a snack

問 2 この英文に基づき、下線部(1)の構成概念とはどのようなものかを説明しなさい。なお、effortful control は「エフォートフル・コントロール」と訳してください。

問 3 この英文に基づき、エフォートフル・コントロールがどのような方法で測定されるかを説明しなさい。

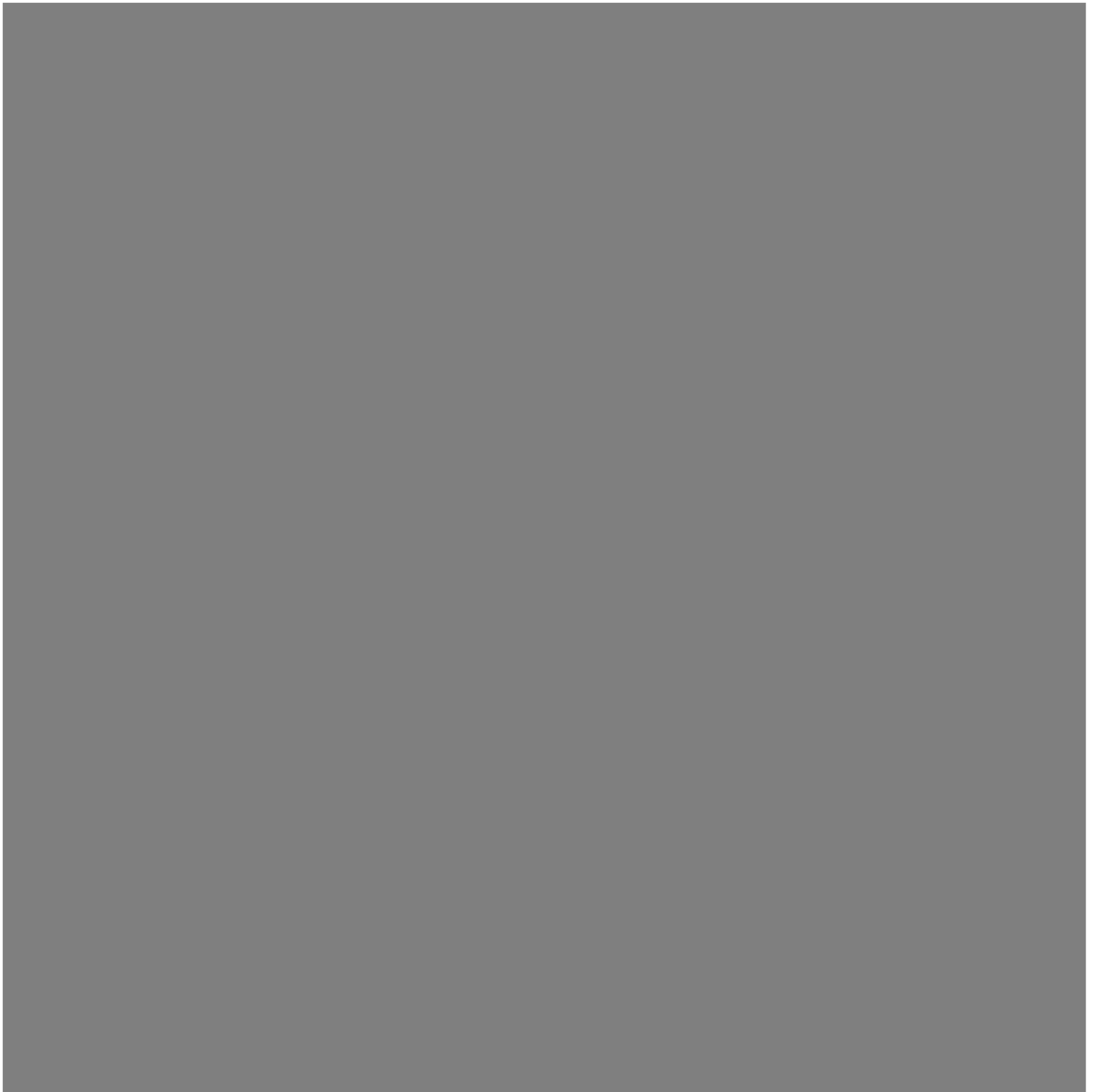
問 4 以下の a から e の文章の正誤をそれぞれ判断し、解答欄にその正誤を○か×で記しなさい。なお、この英文の記述から推論し、その正誤を判断せよ。

- a) エフォートフル・コントロールには、気質的な側面はない。
- b) 自己制御は、エフォートフル・コントロールよりも幅広い範囲をカバーする概念である。
- c) エフォートフル・コントロールは、感情の調整と関連している。
- d) エフォートフル・コントロールは、意識的なコントロールとは関連がない。
- e) 自己制御の能力は、社会的に望ましい目標達成とのみ関連する。

2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

試験室への持ち込み：語学冊子辞書 持ち込み可（電子辞書は不可）

② 以下の文章を読み，問 1，問 2，問 3 に答えなさい。



2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

試験室への持ち込み：語学冊子辞書 持ち込み可（電子辞書は不可）

問 1 下線（1）の英文を和訳しなさい。

問 2 下線（2）の問題への対処法について、本文の内容に沿って説明しなさい。

問 3 下線（3）の理由について、本文の内容に沿って説明しなさい。

受験番号	氏 名

2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

解答用紙（横書きで解答すること）

1

問 1

問 2

問 3

問 4. a から e の文章の正誤を○か×で記しなさい。

a	b	c	d	e

※得点欄
／ 100 点

受験番号	氏 名

2026 年度 大学院 心理学研究科 博士前期課程
一般入学試験 1 期 心理学専攻
英語

解答用紙（横書きで解答すること）

2

問 1

問 2

問 3